

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「あいあい」静岡本部校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2024年 11月 18日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが楽しく通所してくれております。	支援プログラムは季節に合わせたもの、着席して取り組めるもの、身体を大きく動かして活動できるものなど、同じ目的であっても、さまざまなアプローチの仕方での支援を提供しております。	お子さまと保護者さまのニーズをさぐり、お子さまに合った療育を提供してまいります。
2	幼稚園や保育園との連携を取りながら療育をおこなっています。	園を訪問しお子さまの様子を見学させていただいております。園での困り事や家庭での問題を洗い出し、支援に結び付けております。	今後も園や相談支援事業所と連携を取り、お子さまの理解やニーズの把握に努めてまいります。
3	お子さまに合わせたオーダーメイドの療育を提供しております。	お子さまの発達や興味をふまえてプログラムが固定化しないように意識しています。複数の指導員が支援に入ることで様々な角度からアプローチをおこなっています。	引き続き他校舎間での研修、発達支援研究所や外部の研修などに参加し、支援を質を高めてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やペアレントプログラムなど、保護者さま同士の繋がりを持つ機会を持っておりません。	個別支援のため交流の機会が少なく、またニーズの把握ができておりません。	保護者さまのニーズを把握し、必要に応じて開催を検討してまいります。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「あいあい」静岡本校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 25名

回収数 17名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	0	0		プログラム内容に合わせて支援室の机やイスの数を調整しながらスペースを確保しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3	0	0	2人、職員がいることが多いが特別声掛けをしてくれることもなく、何のために同席しているのか謎に思うことがある。	安全管理やお子さんの情報共有等の為に複数の指導員が担当することがあります。事前に同席の意図を説明するようにいたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	4	0	0		室内はバリアフリーとなっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	3	0	0		毎朝の清掃および、支援前後の換気と消毒をおこなっております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	3	0	0		資格の異なる複数の指導員で支援をおこなうことで、お子さんの理解や専門性のある支援の提供に努めております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	5	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	3	0	0		支援やフィードバック、面談等でニーズを把握し、計画に取り入れています。お子さんの興味関心をいかに計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	3	0	1		相談支援事業所の計画や保護者様からのモニタリングを基に、全職員で会議をおこないながら個別支援計画を作成しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	3	0	0		個別支援計画を基に支援プログラムを作成しております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	6	0	0		担当指導員以外が支援入ることによってプログラムの見直しや改善、違う角度からのアプローチに役立てております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	5	3	保育園の先生から、「園生活の参考にしたいのであいあいでのようなことをしているのか知りたい」ということを言われている。子どものためにも園との連携がもう少しとれればと思う。	ご要望に応じて園訪問を行っております。保育園の先生等にあいあいの支援をみていただくことも可能です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0		契約時にご説明しておりますが、ご不明な点がございましたらいつでもご質問ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	0	0		契約時とその後は6か月ごとに個別支援計画の見直しと説明をおこなっております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	0	1		あいあい静岡本校での開催はできておりません。新静岡校での保護者会やペアレントプログラムをご案内しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	3	0	0		日頃から支援の様子を見ていただいたり、園の様子を伺ったりしながら情報共有に努めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	0	0		支援後のフィードバック以外にも、個別面談（家族支援）を随時受け付けております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	0	0		お子さまや保護者様のお気持ちを受け止めながら支援したいと考えております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	3	3		保護者会の開催に置きましては、就学前のタイミングで開催し、保護者様同士の交流の機会を持ちたいと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3	0	1		お子さまや親御様からの相談については児童発達支援管理責任者と共有し対応させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	3	0	0		今後も支援中や支援後のフィードバックも含めて、お話ししやすい環境を整えてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	0		ブログやインスタグラムで活動内容を紹介しております。ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		全職員が取り扱いに注意できるよう徹底してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	2		玄関に各種マニュアルを置いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	2		月1回防災訓練をおこなっております。10月にはお子さんにも参加いただき地震の避難訓練をおこないました。ご協力ありがとうございました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	2		「安全計画」を作成し、定期的に事業所内外の危険をチェックリストで確認しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	3	0	2		ヒヤリハットが発生した場合は親御様にご説明するとともに職員間で共有し改善に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		今後も安心して過ごせる場所となるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	毎回あいあいさんに行く日を指折り数えています！	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もお子さまが楽しいと思える支援をおこなってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	4	0	0		お子さまと親御様が楽しさや納得感をもってご利用いただけるよう、支援の向上に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「あいあい」静岡本部校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	プログラム内容に合わせて支援室の机やイスの数を調整しながらスペースを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	法令で必要とされている配置数に加え、指導員または保育士を1名以上配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	玄関に入ってからはバリアフリー構造になっています。また、療育室の刺激が少なくなるよう工夫しています。	扉や外階段などは危険がないように見守りや声掛けをおこないます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎朝の清掃および、支援前後の換気と消毒をおこなっております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別療育では基本的に1人一部屋となるように調整しております。ソファ室をクールダウンスペースとしてご利用いただけます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	朝礼での支援共有やモニタリング会議を通して、情報の共有を図っています。お子さんに合わせたプログラムを作り、支援後に見直しをおこなっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年実施して業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	毎年実施して業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		第三者評価は現在未実施です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	社内研修や社外研修に参加し、質の向上を図っています。発達支援研究所が毎月開催している研修に参加しております。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	毎年アセスメントをおこなうとともに、フィードバックや面談をとおして定期的にニーズの把握に努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	相談支援事業所の計画や保護者様からのモニタリングを基に、全職員で会議をおこないながら個別支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	個別支援計画を基に支援プログラムを作成しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	NCプログラムやコクトレ等を活用しアセスメントをおこなっております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	支援後のフィードバックや面談をとおして家族支援をおこなっております。ご要望に応じて園や小学校とも連携しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	職員全体で立案し検討しております。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	お子さまの発達や興味関心を意識して活動プログラムを作成しております。また、その日のお子さんの調子に合わせて量を調整したり、季節の内容を取り入れてたりしながら支援をおこなっております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	毎月集団活動を開催しています。集団活動での様子を個別活動のプログラム作成に活かしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎朝ミーティングをおこない、支援の共有や役割分担を核にしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	当日または翌朝にミーティングをおこない、支援の振り返りをおこなっております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎回支援記録を細かく記録することで次回の支援に活かしております。また、プログラムのねらいや結果を記載することで支援の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			計画期間（6ヶ月）ごとに会議内でお子さんの事例を共有・議論し計画の見直しの必要性を判断しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者と担当職員（場合によってはどちらか）が出席し、日ごろの表れを伝えると共に他機関との連携が図られております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	協力医療機関との連携体制を取っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	モニタリングの電話で園の様子を聞いたり、園訪問をしたりして情報共有や相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		相談支援事業所に情報を提供しております。スムーズな移行のために連携をはかってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	年1回程度、発達支援センターの研修に参加して支援の助言をいただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		機会に恵まれておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回支援終了後にフィードバックの時間を設けております。定期的に面談も行ってまいります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	新静岡校でのペアレントプログラムを紹介しております。	静岡本部長では開催できておりません。今後、保護者様同士の交流の機会を持ちたいと考えております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や内容変更があった際に管理者よりご説明しております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントやモニタリングでお子さまとご家族の意向を確認し、計画作成に活かしております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	支援計画の説明をおこない、同意をいただいております。ご要望に応じて内容の修正や検討をおこなっております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	毎回の支援終了後に保護者の方へのフィードバックの時間を設けております。相談しやすい環境づくりを心掛けております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	新静岡校での保護者会やペアレントプログラムを紹介しております。	静岡本部長では開催できておりません。今後、保護者様同士の交流の機会を持ちたいと考えております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	電話による相談、来所による面談を行っております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやインスタグラムで活動やイベントの報告をおこなっています。また、LINEにて行事や各種お知らせを発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	全職員取り扱いに注意するよう徹底してまいります。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚的支援を取り入れております。また、発語がなくてもやりとりが伝わっていることを感じられるように言葉がけを積極的に行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域との交流の機会は持っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを策定し職員周知を行っております。年に数回不審者を想定した訓練もおこなっております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月避難訓練をおこなっております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時と年1回面談シートの記入を保護者さまにお願いしております。面談シートに記載がございます。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	イベント等で飲食の提供をおこなう際には改めて食物アレルギーについて全員の保護者さまに確認をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、定期的な点検や訓練をおこなっております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	緊急連絡先をうかがい緊急時の連絡がとれる体制を整えております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット報告書を作成することで安全性への意識を高め、大きな事故を未然に防ぐように注意しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止委員会の定期研修の他、年1回虐待防止の全職員対象に研修を行っております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	個別支援計画書に記載し、説明をおこなっております。玄関の鍵の施錠について保護者さまに説明し同意を得たうえで、必要時のみ安全な療育方法の一つとして取り入れております。		